

平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ボランティア実習 (Volunteer Practice)		授業コード	E040501
担当教員名	鈴木 照夫、竹田 隆行、鍋田 耕作		科目ナンバリングコード	E20915
配当学年	2	開講期	通年	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	なし			
受講心得	能動的に取り組むこと。出席と取り組みの内容を重視します。			
教科書	なし			
参考文献及び指定図書	なし			
関連科目				

授業の目的	地域における様々な課題・ニーズについて、理解を深めるとともに、課題解決に向けて主体的に活動していく力を養うことを目的とする。
授業の概要	ボランティア活動を企画・立案し、または、既存のボランティア活動に参加することにより、ボランティア活動の実際を体験的に学び、実施した活動を振り返ることで、継続的かつ効果的に取り組むことができるようにしていく。

○授業計画		
学修内容	学修課題(予習・復習)	
○ボランティア活動を行う際の企画書の提出 ※企画書は、自ら企画・立案して実施する場合も既存の活動に参加する際にも必要 ○企画書の留意事項 ※活動の企画は1回につき3時間以上で計画 ○実習の実施回数 ※活動回数は原則として4回以上とし、毎回の活動終了の際には活動内容や感想等のレポートの提出が必要。また、活動の全体が終了した際には、別途総括レポートを提出。	ボランティア活動の意義に関する理解 既存のボランティア活動の実態把握	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー II : 地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	積極的に活動へ参加することができる。
【知識・理解】	ボランティア活動の背景にある、様々な課題やニーズについて理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	地域創生人材として求められる資質、能力等を活用し、地域を構成する一員として対応することができる。
【思考・判断・創造】	ボランティア活動を通して経験した内容について考察し、今後求められる人材や社会資源等について創造していくことができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		30点		
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		10点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		30点		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		30点		
(「人間力」について)				
<p>※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。</p>				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	<p>企画書、報告書、総括レポートをもとに取り組みの内容により評価します。達成水準の目安は以下の通りです。</p> <p>[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。</p> <p>[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。</p> <p>[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。</p> <p>[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。</p>
発表・その他 (無形成果)	